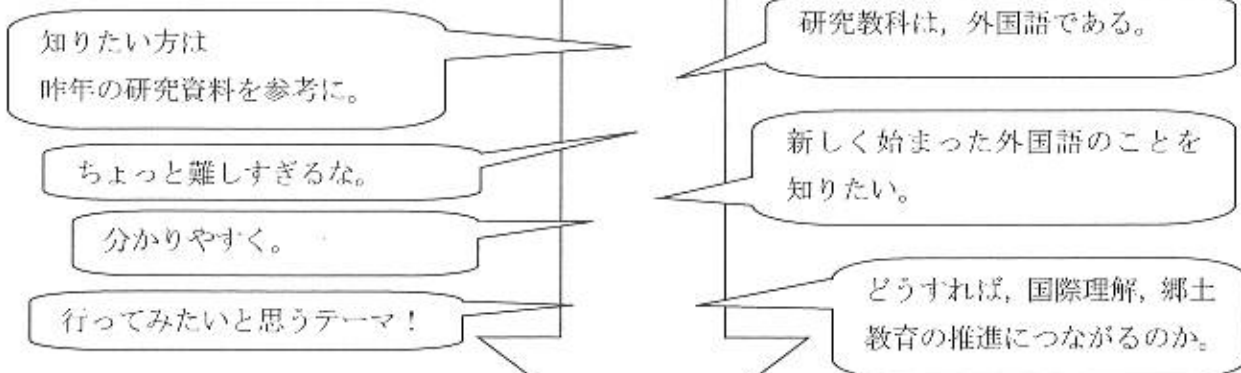


1 本校の研究テーマ

学校教育目標具現化に向けた教科・領域など
 横断的カリキュラム・マネジメントの充実 I
 ～ことばのシャワー溢れる学校環境作り～



2 来校研修に来られる先生用の研究テーマ

(今年度、自分たちが取り組もうとしている研究の中身)

(来校研修用テーマ)

世界を知り、郷土のよさに気付く子どもを育てる外国語教育の創造
 ～ことばのシャワーを浴びることで、学びに向かう力を高めよう～



- ① 外国語・外国の文化にかかわるものを「目で見て」「耳で聞いて」世界を感じる場を設定する。(ことばのシャワーを浴びることができるような環境設定を工夫すること)
- ② 今年から始まった「外国語」のデジタル教材等を使った授業の流し方を教師が理解する。

先生方の英語指導の向上を目指して・・・ 5月18日（月）の研修につながる

1 外国語の環境設定を充実させるには、身の回りの物を英語でまずは、言ってみよう！

- ① 1年生・・・first grade student イーニアシヤン 1 niansheng イハンヤン Ihagnyeon
- ② 音楽教室・・・music room インユエシーyinyueshi ウマクシル u-mak' ssil
- ③ 校長先生・・・principal シャオジャン Xiaozhang キョジャン kyojang 先生ソンセンニム

※ 5月18日（月）に、第2弾を実施します！

2 英語を教えるときのワンポイント

- ・ 英語を教え込もうとすると、英語嫌いを作ることに繋がる可能性もある。
- ・ 「英語を教える」のではなく、「英語を話したくなる・学びたくなる」方が大事。
(ICTの時代は、脳は記憶するためのものでなくなった。なぜなら、google等で検索すれば、知りたい情報はすぐ得られるようになったから。)
(では、自分が知りたいことを、自分なりの方法で調べたり、答えたりしようとする力が、必要)
↓
英語を習得する英語教育の世界に置き換えると、
- ・ 出川イングリッシュが、求められる英語力になる。
↓
- ・ 出てきた英語がめちゃくちゃである。(最初は失敗となる)
↓
- ・ 自分の知っている知識を引っ張り出して、身振り手振りと合わせてみたら、・・・
↓
- ・ ある瞬間、相手に通じることもある。(脳の中のドーパミン放出＝成功体験)
↓
- ・ それを聞いた外国人から、正しい英語を聞き、正しい英語を獲得する！
(脳を働かせて身に付けた知識は、脳の箱に整理して収納されるので、引っ張り出しやすい)

例) 「かえる」は・・・frog

では、「おたまじゃくし」は、・・・frog baby? Lake river swimming small black

「う～～ん、えっと～」

“That’s good idea! I understand what you said!” “It’s a tadpole.” てっぼうみたい！

ちなみに さんまは saury (さおり) って聞こえるよ。

先生たち用ワークシート

先生方の英語指導の向上を目指して・・・ 5月18日（月）の研修につながる

1 外国語の環境設定を充実させるには、身の回りの物を英語でまずは、言ってみよう！

① 1年生・・・

② 音楽教室・・・

③ 校長先生・・・

※ 5月18日（月）に、第2弾を実施します！

2 英語を教えるときのワンポイント

例) 「かえる」は・・・

では、「」は、・・・・

「う～～ん。えっと～」

“That’s good idea! I understand what you said!” “It’s a

”

第5学年 外国語科学習指導案

令和2年6月11日(木) 6校時
1組男子10人女子8人 計18人
指導者 末盛 正和

【研究の視点】

- デジタル教材を活用した学習の流れ(デジタル+コミュ活動)
- 郷土教育と国際理解教育の視点を盛り込んだ活動の設定

1 単元名 When is your birthday?"

2 本時(6/8)

(1) 目標

- 友達と誕生日や誕生日に欲しいものを伝え合う活動に進んで参加しようとする。【学びに向かう力・人間性等】
- 誕生日だけでなく、様々な行事についても日付を尋ねたり答えたりすることができる。【知識・技能】

(2) 展開

| 観 | 主な学習活動 | 単 | 教師の支援 | 基本的な語彙・表現 |
|--------------|---|----------------------|---|---|
| 意欲をもつ | <p>《Warm up》</p> <p>1 Greeting</p> <p>2 Small Talk (Teacher's talk)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な国の行事について尋ねる。 | 7分 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 天気、曜日、日付け、時間割を尋ねる。 ○ 国際理解、郷土理解に関する内容を盛り込む。 | <p>A: When is your birthday?</p> <p>A: When is Christmas?</p> <p>A: When is ピーナツ種まき?</p> |
| つかむ・見通す | <p>3 Target situation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P.18Aの会話からどんな英語を学習するか予想する。 <p style="text-align: center;">誕生日に欲しいものを尋ねたり、答えたりしよう。</p> <p>4 Target words</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時で扱う英語について知り、練習する。 ・ P.19 チャンツ②をする。 | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 誕生日の学習と合わせて、誕生日に欲しい物を尋ねたり、伝えたりする表現を学習することを確かめる。 ○ 本時で扱う英語に慣れ親しませ、進んで英語で話そうとする意欲を高めるように、何度もくり返し発話させる。 | <p>A: When is your birthday?</p> <p>B: My birthday is June 11.</p> <p>A: What do you want (for your birthday)?</p> <p>B: I want a pencil.</p> <p>T-shirt, cap, cup, notebook, red, yellow, green, blue, etc</p> |
| 挑戦する・広げる・いかす | <p>5 Activity 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミッシングゲームをする。 <p>6 Activity 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と誕生日に欲しいものを尋ね合って分かったことをメモする。(コミュニケーション活動) <p>7 Activity3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモを集めて、書かれた人は誰かを当てるクイズをする。 <p>8 Activity4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカードの今日の学習で使った文字を1つ書く。 | 5分 5分 5分 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 欲しい物を表す英語にゲームを通して慣れ親しませる。 ○ これまでに学習した「誕生日を尋ねたり、答えたりする表現」「欲しいものを尋ねたり、答えたりする表現」を実際に友達に使うことで、表現するよさを感じながらコミュニケーション活動を行わせる。 ○ 文字を読むこと・書くことへの取組として、1単位時間に1つ学習した英語を文字に表わす時間を設ける。(辞書を活用) | <p>A: Let's play missing game.</p> <p>What's missing word?</p> <p>Please guess!</p> <p>A: When is your birthday?</p> <p>B: My birthday is June 11.</p> <p>A: What do you want (for your birthday)?</p> <p>B: I want a pencil.</p> |
| 振り返る | <p>9 Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困り感スキットを見る。 ・ 日付の書き方が国によって違うことを知る。 ・ 英語を話せたよさを発表する。 <p>10 Ending</p> | 8分 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習したことを振り返り、また国によって日付けの書き方が違うことなどにも気付かせる。 ○ 友達のがかったところを発表させることで、活動の満足感と次時への意欲を高めさせる。 | <p>USA:06/12/01</p> <p>UK: 12/06/01</p> <p>JPN:01年6月12日</p> <p>国によって書き方が違う。</p> |

令和2年度 授業参観 事前（検証）シート

学年：第5学年1組
教科：外国語科
単元名：「When is your birthday?」第6時
指導者：末盛 正和

授業のねらい（～を通して～ができるようになることを目指す）

デジタル教材のクイズやインタビュー活動を通して、誕生日や欲しい物を質問したり答えたりすることができるようになることを目指す。

導入：「問い」や「思い・願い」を引き出すために（～を～する）

- デジタル教材で、誕生日に欲しいものを答える場面を見せて、言いたい英語を考えさせる。

展開：思いや考えを広げ深めることができるようにするために（～を～する）

- 進んで友達に誕生日とプレゼントを聞く活動ができるようにするために、誕生日とプレゼントをヒントに誰かを当てるクイズを紹介する。

終末：学習したことを明確にするために（4観点のうちどれを可視化【音声だけでも含む】させるか）

- 学習で使用した外国語を文字として書かせる。
- 学習して言えるようになった喜びを感じられるよう、発表させる。

取り扱う課題（問題）

- 誕生日を質問する。
- プレゼントを質問する。

教具

- デジタル教材
- 振り返りカード

6月11日(木) 研究授業に関する感想等

○ 本日は、授業参観ありがとうございました。感想等気付かれたことをご自由に書いてください。

1 研究テーマについて

世界を知り、郷土のよさに気付く子どもを育てる外国語教育の創造
～ことばのシャワーを浴びることで、学びに向かう力を高めよう～

2 授業について

(1) デジタル教材を活用した学習の流れについて

- どんどん使っていきたいと思いました。子どもも楽しそうでした。
- デジタル教材の中にもたくさんの教材が入っているので、1度目を通してから授業に用いる物を精選することが重要である。
- ミッシングゲームが、スピード感があって児童も楽しんでいました。

(2) 郷土教育と国際理解教育の視点を盛り込んだ活動の設定について

Q 「When is ピーナツ種まき？」の発問の意図

→外国の行事、日本の行事だけでなく、地域話題を扱うことでより子どもに身近に感じてもらうため。

- 「ピーナツ種まき」は面白くて耳に残りました。

3 外国語のシャワーを浴びせる環境設営の工夫について（これから充実させていく参考に）

Q どれぐらいの割合で All English を目指しているのか。

→およそ日本語5：英語5くらい。子どもに伝わること、理解させることが重要なので指示を中心に英語で話していくように心がけていきたい。

(中学校：教師によって大きく異なるが、ところどころ英語を用いていき、少しずつ英語を増やしていくことが理想である。)

(鹿屋小学校：教師が日本語を話しすぎると、児童は日本語に頼りすぎてしまうため、All English Time を1時間の授業で20～25分とるように心がけている。子どもにわかる英語を使うことが重要である。)

- 毎日の給食の中で野菜や調味料など単語を話すようにしています。

4 その他

Q 書くことを普段の授業でどのように扱っているのか。

→Picture Dictionary を活用したり、フォニックスで音と文字をつなげたりしている。

- 児童が音や絵から英語を日本語に変換せずに認識しており、単語も4線に書くことができているすごいと思った。
- Relax, Rhythm, Rule, Role model の授業であった。
子どもたちの本当の思いを伝える言語活動が充実していた。
- 子どもたちだけ残して学習させることが難しい学級もあり、研究授業も少しの時間しか見ることができませんでした。
5時間授業で返しておくべきだったのか、時数確保のために仕方ないのか...

Q：質問 ○：感想